

向き、不向きよりも、前向きに！

向日市立西ノ岡中学校 第3学年 進路通信 第3号
令和8年4月13日(月) 進路指導担当：蔭山 拓人

進路通信第3号では、「定着確認テスト」についてお伝えします。

■目的

- ・各回のテストを通して、3年間の学習を復習し、基礎学力の定着を図る。
- ・自分自身の進路選択の参考にする。

■概要

3年生では進路に関わるテストとして、「西ノ岡定着確認テスト」(3回)と「京都市・乙訓学習確認プログラム」(2回)を合わせた年間5回実施します。各テストの範囲に対して事前に対策をしていくことが入試対策へとつながります。また、テストの点数は、進路選択の参考資料になります。行事期間中や定期テスト直前に実施されることもあります。対策を立てて受けてください。

■実施方法

(1) 各テストの概要

	京都市・乙訓学習確認プログラム	西ノ岡定着確認テスト
実施回	第1回(5月)・第4回(10月)	第2回(6月)・第3回(8月) ・第5回(11月)
配点	各教科100点満点(5教科:500点満点)	各教科40点満点(5教科:200点満点)
時間	各教科45分間、1日で実施	各教科25分間 ※A・B・Cで異なる。 A(国語・社会):25×2=50分間 B(数学・理科):25×2=50分間 C(英語):25×1=25分間
範囲	「学習プログラム範囲表」を参照	「定着確認テスト範囲表」を参照
進め方	事前に予習シートが配布されるため、それに基づいて復習を進める。	範囲表を確認し、各自で復習を進める。
解説等	後日返却	採点後の授業で各教科担当

(2) テストの受け方

① 京都市・乙訓学習確認プログラム

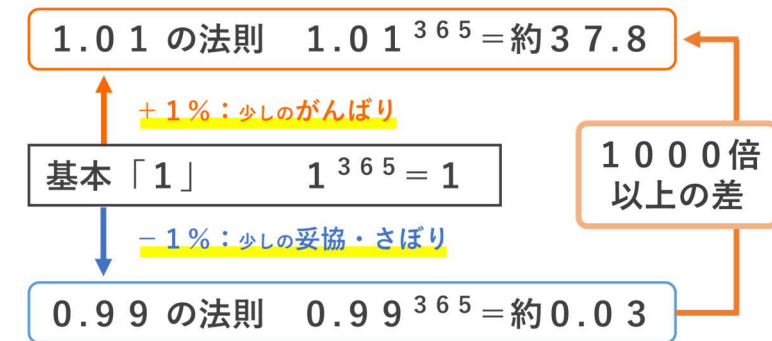
- ・チャイムで問題・答案用紙を配布します。(学校ID及び生徒IDを確認します。)
- ・1教科45分で実施するため、チャイムが鳴った5分後に解答を開始します。
- ・チャイムで解答をやめ、問題・答案用紙を回収します。

② 西ノ岡定着確認テスト

- ・はじめに1教科目、2教科目の問題・答案用紙を配布します。このとき、2教科目の問題・答案用紙は机の中に入れます。
- ・1教科目を25分間実施します。
- ・1教科目25分間実施後、2教科目を机の中から出し解答します。このとき、1教科目は机の中に入れます。
- ・チャイムで2教科目の解答を終了し、両教科の問題・答案用紙を回収します。

■日々の積み重ねを大切に！

「1.01の法則」と「0.99の法則」について紹介します。この法則は何かに対して「努力を継続したとき、通常よりも少しがんばった場合」と、「少しの妥協・さぼりがあった場合の成長の結果」を表したものです。



通常の努力を「1」とし、1年間「1」の努力を継続した場合、「1の365乗」で計算します。もちろん計算結果は「1」になります。通常の努力に「1%」でも加え、1年間「1.01」の努力を継続した場合、その結果は「約37.8」になります。少しの努力を積み重ねることで、1年後「約38倍」の成長を期待できます。反対に、「これくらいでいいか」「やる気がでないな」と努力を怠り、1年間「0.99」の努力で継続した場合、その結果は「約0.03」となり、ほとんど成長が見込めません。

また、「少しがんばった人」と「少しの妥協・さぼりがあった人」で結果を比べると「約1260倍」の差がつくこととなります。

あくまでも、指数関数的に成長すると仮定した場合の計算の話ですが、この数値を信じてこの1年間がんばってみませんか。

